

令和5年度以降の取組について

① オープンファクトリーの取組

【 オープンファクトリーとは 】

ものづくり現場を開放し、一般の方にもものづくりを体験・体感してもらう取組。

近年は、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、地域を一体的に見せていく「地域一体型オープンファクトリー」への進展も見られる。

企業の技術力の高さ・製品のPRだけでなく、地域の魅力発信の取組としても注目。

【 大阪府内での実施状況 】

八尾市等	ファクトリズム
東大阪市	こーばへ行こう！
河内長野市	ワークワクワク河内長野
岸和田市等	泉州オープンファクトリー など

【 期待する効果 】

企業のPR、知名度向上 → 人材確保

従業員のモチベーションアップ → 生産性の向上

参加企業と来場者の交流 → より良い地域コミュニティ形成

【 現状・今後の方向性 】

・10月に、八尾市のオープンファクトリー2社を視察。(コダマガラス、藤田金属)

・ものづくり企業への訪問の際、オープンファクトリーの案内等を行っている。

・今後の方向性の検討

(1) 魅力発見ツアー（まち魅力発信課主催）と連携し、市内企業・事業所等をスポットとしたツアーを企画する。

(2) 八尾市のファクトリズムに参画する など

② 産業に関わる交流拠点の整備

【 想定・期待される効果 】

場所	機能・具体例	期待する効果
商店街内 (例) 空き店舗 にぎわい亭など	事業所のPR ワークショップ、講座 パネル展示、商品販売	認知向上 購買促進
	来街者の休憩・滞留 オープンスペース まちの情報発信	商店街の利便性向上 来街者の滞留促進
駅・大学の周辺 (例) 駅周辺の空きテナント 大学内など	事業者等の交流 交流会、勉強会 コワーキングスペース	コミュニティ形成 ビジネスマッチング 創業、産学連携の促進

【 他市事例 】

八尾市 みせるば八尾
宇治市 うじらぼ

【 今後の方向性 】

以下の項目を踏まえて検討を進める

- ・関係機関等へのヒアリング
- ・事業者のニーズ把握
- ・運営手法（主体）、場所、仕掛けの検討

③ 特産品づくりの支援

【 考えられる手法 】

(1) 既存商品の認知向上・販路拡大の支援

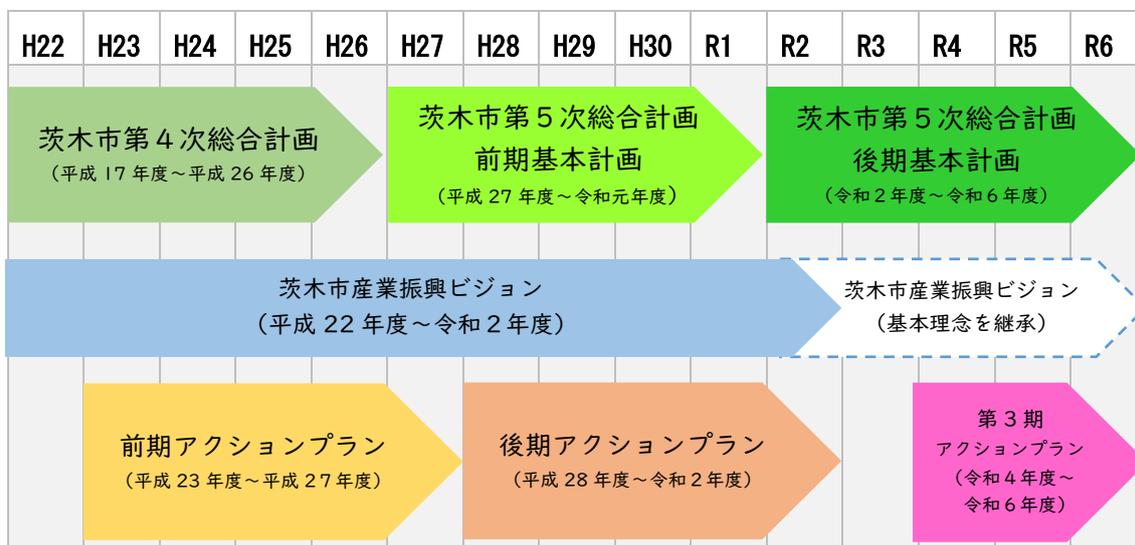
ふるさと納税の返礼品
認定制度

(2) 新たな商品開発の支援

補助制度（現状：産業活性化プロジェクト促進事業・産学連携スタートアップ支援事業）

④ 産業振興アクションプランの改定に向けた調査

【 経過 】



【 今後の予定 】

令和5年度 市内事業者へのアンケート調査等を実施し、課題を抽出
 調査内容：前回調査時（R1）からの経年変化
 コロナや物価高・原油高等による影響
 今後の事業展開等の意向

令和6年度 産業振興アクションプランの改定
 令和5年度の結果・課題を踏まえて、方向性や計画期間について
 総合計画との整合を図るかたちでプランを改定